



「あの時あなたはどこにいましたか？」写真で振り返りかえる留萌の災害

昨年9月には、台風18号が留萌市を襲いました。留萌市は、瀬越町など107世帯計229人に避難勧告を発令しました。最大瞬間風速は、43.9mを記録しています。札受町にある佐賀番屋倉庫の屋根が吹き飛ばされました。



昨年12月に起きた留萌支庁南部地震。小平町では、家屋などへの被害もありました。



昭和63年の集中豪雨による留萌川氾濫で、汚泥の堆積や土砂崩れが発生しました。住家被害では、床上・床下浸水の数が3367棟、3710世帯に達しました。



昭和63年8月には、留萌川氾濫による大洪水が発生し、多くの市民が留萌中学校などの各避難所に避難しました。



昭和63年8月26日、午前10時40分頃、末広町付近の写真です。災害には、子供や高齢者などいわゆる「災害弱者」が巻き込まれやすい傾向にあります。

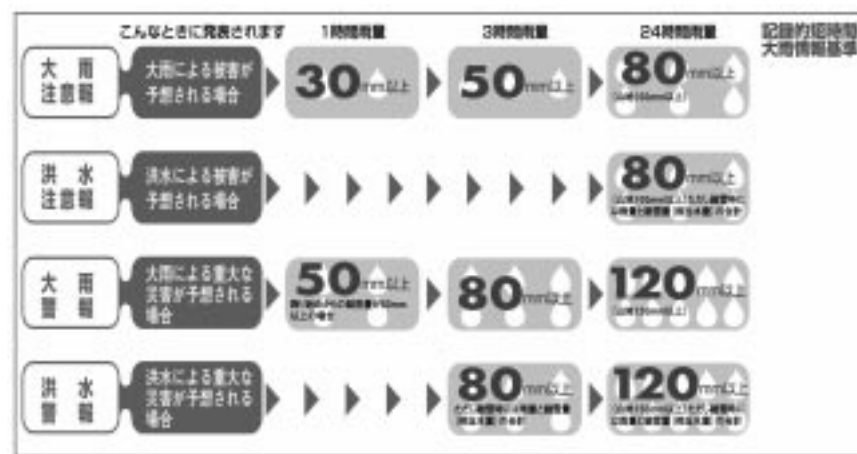
特集

備えあれば、憂いなし

今こそ「地域の防災意識」を高めよう

9月1日は「防災の日」。災害から生命、身体、財産を守るためには、市民一人ひとりの防災に対する意識を高めることが必要であり、日頃から災害に対する備えや地域住民の助け合いがとても大切です。

災害は、突然やってきます。この機会に、今一度、災害に対する正しい心構えを持ちましょう。今回は、総務部防災担当主査の吉田博幸さんにお話を聞きました。



Q 風水害に備えるにはどうしたら、よいのでしょうか？

A 台風や大雨などによる風水害は、市民の皆さんの日頃からの備えによって被害を最小限に食い止めることが出来ます。地震などとは違い、ある程度の予測ができることから、気象情報をこまめに確認し、災害の恐れがある時には、住宅や家の周りを確認するなど早めに準備するよう心がけましょう。

Q 地震や津波に備えるにはどうしたら、よいのでしょうか？

A 地震がいつ発生するかを予測することは、不可能に近いといわれています。被害を最小限に食い止めるために次のことをしておきましょう。

- ① 家具の転倒防止対策
- ② 玄関（避難口）の整理整頓
- ③ 万一の時の連絡先等を家族で話合う
- ④ また、地震発生などイザというときの行動を覚えておくことが大切です。
- ⑤ 揺れている間は、机の下など安全な場所へ隠れる
- ⑥ 二次災害防止のため、すばやく火の始末をする
- ⑦ 揺れがおさまった後、家族や近所の安否を確認しあう
- ⑧ 地震発生と同時に津波の危険もあることから沿岸地域の方は、特に津波情報に注意しましょう。

Q 自主防災組織とは、何ですか？

A 「自分たちのまちは自分たちで守る」という心構えを持つ地域の人たちが自発的に防災活動を行う組織です。自主防災組織では、主に次のような活動が期待されます。

- ① 正しい情報の伝達
- ② 町内、となり近所への声かけ
- ③ 災害弱者への支援
- ④ スムーズな避難誘導

私がお答えしました

▼ 災害というのは「忘れた頃にやってくる」と昔から言われておりましたが、最近では「いつ起こってもおかしくない」というのが現状となっています。昨年の台風18号や地震の発生など、災害は常に身近に迫っているものです。イザという時のためにも日頃から右の図のようなものを用意しておくことも大切な防災対策です。



よしだ ひろゆき
吉田 博幸さん
総務部防災担当

また、FMもえるで、毎週月曜日から金曜日までの午前8時5分と午後5時50分に放送している「留萌市情報プラザ」のなかで、防災ワンポイントをお届けしています。ぜひ、お聞きください。

問合せ 総務部防災担当 ☎42・1801

非常持ち出し品リスト

品	目
	懐中電灯
	携帯ラジオ
	飲料水
	非常食
	タオル
	貴重品
	救急セット
	衣類
	ロープ
その他ライター、ナイフ、缶切り、ティッシュなど。予備の電池は、多めに用意しておきましょう。	

一口メモ なぜ、9月1日は防災の日なの？

A 「防災の日」は、1923年（大正12年）の9月1日に起こった関東大震災を教訓とするため、1960年（昭和35年）に制定されました。また、この時期に多い台風など風水害への心構えを持つといったことも関係しています。

Q どうして、自主防災組織が必要なのですか？

A 大規模な地震や広範囲にわたる洪水などが発生すると、行政機関の防災活動ができなくなる場合も予想されます。こういう時には、町内会（自治会）が、目の前にさし迫った事態に対処するほうが有効であるといわれています。こういったことから、町内会や地域の方々で積極的に自主防災組織を結成し、行政と地域住民とが協働して災害に強いまちづくりに取り組んでいくことが必要です。

Q 市民防災訓練を開催するようですが？

A 市では、地域の方々の災害に対する意識の高揚を図ることや、自主防災組織の結成による住民の行動や役割を確認することを目的とした「市民防災訓練」を9月4日（日曜日）午前9時から、市内4カ所のコミュニティセンターを会場（避難所）として周辺町内会を中心に実施します。当日は、訓練開始時刻にサイレン等が鳴りますので、ご承知下さい。

⑤ 避難所での相互協力
これらのことは、全て日頃からのコミュニケーション、つまり昔からいう「向こう三軒両隣」の精神が大切であり、災害時の「被害を最小限に抑える最大の防災対策」ということができます。